

# 令和7年度 千葉県中学校新人卓球大会

## (審判部より連絡)

①現行の日本卓球ルールに準じて行われます。ただし、一部にローカルルールを適用する。

### タイムアウト

#### ・団体戦

ベスト8から全ての対戦で適用する。

#### ・個人の部（シングルス）

ベスト8から全ての対戦で適用する。

### 促進ルール

・1ゲームが10分経っても、「双方の得点合計が18点に満たない場合」もしくは「双方の合意があった場合」に適用する。(ストロークカウンターは、審判部から出す)

②「アドバイス」について

・ベンチ外からのアドバイスは禁止とする。

・監督とアドバイザー登録されている方は、必ずIDを着用する。

・生徒がアドバイザーに入る場合には、試合ごとにアリーナ入口付近で登録を行い、専用の用紙を受け取る。尚、混雑を防ぐため、試合順①②から登録を行う。その後は、試合が近くなり次第随時行う。そして、各試合が終了するごとに、専用の用紙を返却する。

【第1試合⇒登録⇒第1試合終了⇒返却、第2試合⇒登録⇒第2試合終了⇒返却】

※監督やアドバイザーが試合途中からアドバイザーに入る場合=生徒は、その場を離れ、用紙を返却する。

※監督やアドバイザーがゲーム間のアドバイスのみを伝える場合=生徒は、その場を一時的に離れる。

・ゲーム間のアドバイスは1分以内とする。審判に入った生徒は、ストップウォッチで1分を計測し、それを過ぎてもアドバイスをしている際には、「タイム」と声をかけて試合に入るよう促す。なお、選手はアドバイスをもらうために試合コートから離れてはいけない。

③「サービス」について

・疑わしいものについては早めに審判部に声をかける。また、試合の後半で、勝負の駆け引きなどに利用しない。

⇒正しいサービスの出し方については、各チームで再度確認しておく。

④「用具」について

・損傷がひどい場合（例：ラバーの中央部に破損があり、打球に影響するなど）には使用を認めない事もある。事前に用具の方を確認しておく。

⇒必要であれば、事前に審判部まで持ってきて頂ければ、判断いたします。

⑤「服装（防寒着も含む）」について

・白色基調（試合球と同系色）の服装はご遠慮ください。

⇒もし、白色が基調の服装の場合は、白色以外の布などで覆うなどしてください。

⑥応援について

・試合をしている選手が気持ちよく試合を行えるように、マナーのよい応援態度をお願いします。特に、監督、コーチの大き過ぎる声援はバットマナーに当たります。そして、試合をしている選手がサーブレシーブの構えを始めたら、応援は控えましょう。

# 試合で正しいサービスを出すために ～ルールにあったサービスを出せていますか？～

こうえきざいだんほうじん にほんたっくゅうきょうかい  
公益財団法人 日本卓球協会  
ルール・審判委員会 編

近年、小学生や中学生などの大会で、サービスの乱れが指摘されています。注意を受けても正しいサービスが出せない選手がいるとの指摘もあります。

選手の皆さんの努力はもちろん、指導者の皆さんの協力も欠かせないと考え、サービスの要点をまとめ、お知らせします。

正しいサービスを身につけるためには、日頃の練習が欠かせません。この文書を参考にして、ルールにあった正しいサービスが出せるように練習して、地域の大会や全国大会に参加しましょう。

次に書いてあるサービスはルールにあっていません（違反サービスです）

## サービスを始める時

- しっかり動作が止まっている
- ボールをのせている手のひらが開いていない
- ボールが手のひらではなく、指にのっている
- ボールの位置がエンドラインの内側にある  
(ボールをのせた手や腕はエンドラインの内側に入っていてもよいが、ボールは入ってはいけない)
- ボールの位置がプレーイングサーフェス(卓球台の表面)の下にある  
(投げ上げる時の反動で、プレーイングサーフェスから、ボールが下がってもいけない)



## ボールを投げ上げてから打球する時まで

- ボールを、ほぼ垂直方向に投げ上げられなかった
- 手のひらや指でボールに回転をかけた
- ボールが手のひらから離れたあと、16 cm以上上がっていない  
(審判員はネットの高さ(15.25 cm)を基準に判定します。ネットの高さ以上に投げ上げること)

- 打球までに何かほかのものに触れてしまった  
(天井の照明、競技者の体やユニフォームなどに触れた場合)
- ポールが上がっていく途中に打球した（ぶつけサービス）
- ラバーを貼っていない面で打球した
- ボールをサーバーの体で隠した
- ボールをダブルスマートナーで隠した
- ボールを投げ上げたあと、手や腕をすぐに「ボールとネットとの間の空間」から外に出さなかった
- エンドラインの内側(台の上)で打球した
- プレーイングサーフェスより下で打球した  
※サービスが正しいかどうか 疑わしいと審判員が判断した場合、その試合で最初の疑問であれば「レット」とコールされ 注意が与えられる。 明らかな違反サービスは、レットではなく、最初から「フォールト」となり、相手のポイントになります。

## サービスを打球した(出した)あと

- サーバー側のコートに触れなかった
- サーバー側のコートに触れたあと、レシーバー側のコートに触れなかった
- ダブルスで、サーバーのコートの左半分にボールが触れた
- ダブルスで、サーバーのコートの右半分にボールが触れたあと、レシーバーのコートの左半分に触れた

ルールにあった、正しいサービスができるように練習しましょう！

以上